

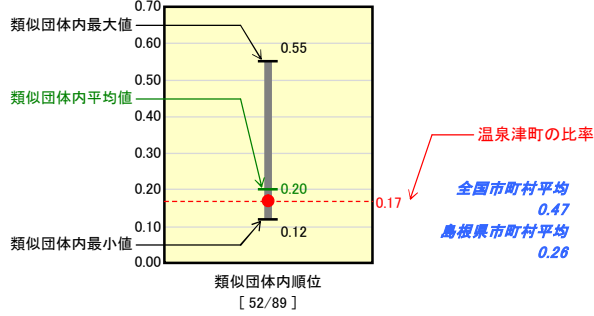
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

島根県 温泉津町

人口	3,852人(H17.3.31現在)
面積	71.85 km ²
歳入総額	2,971,638千円
歳出総額	2,865,547千円
実質収支	105,179千円

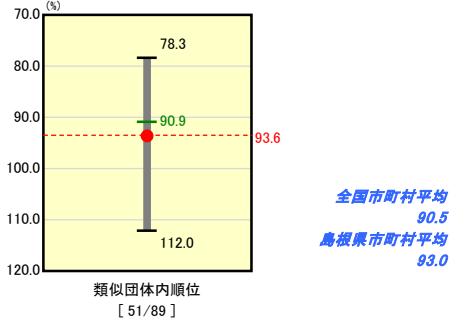
財政力

財政力指数 **[0.17]**



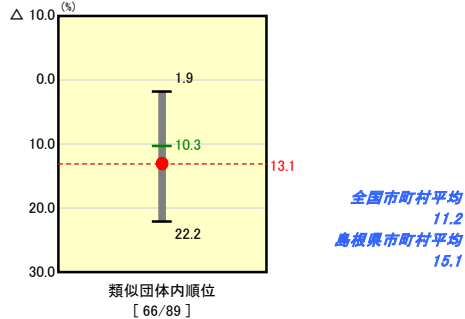
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[93.6%]**



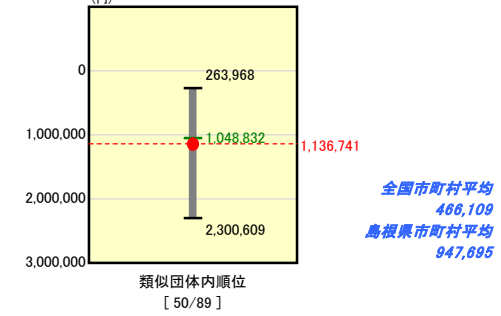
公債費負担の健全度

起債制限比率 **[13.1%]**



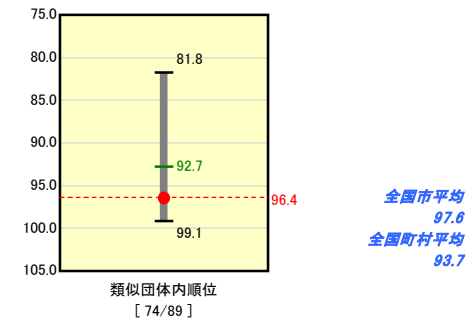
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[1,136,741円]**



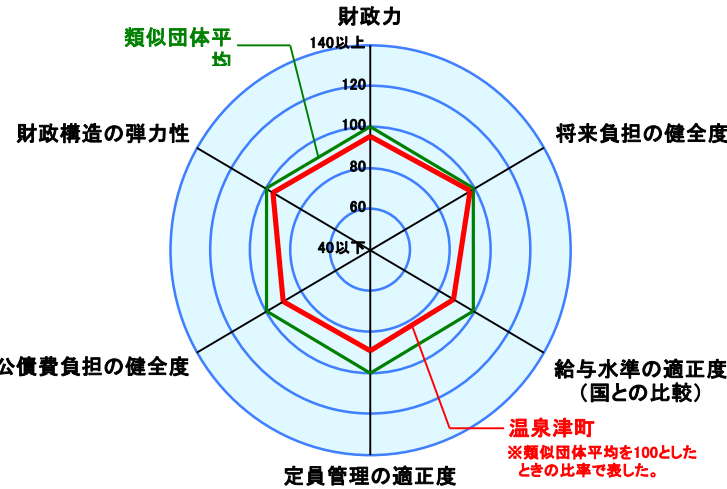
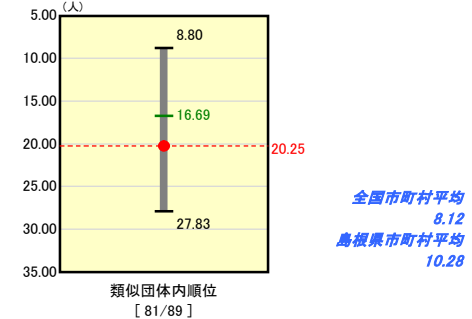
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[96.4]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[20.25人]**



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】

人口減少や全国平均を上回る高齢化率(H17.3末 41.7%)に加え、長期的な景気の低迷により指数は類似団体平均以下となっている。今後も事務事業の見直しや民間委託の推進等による歳出の削減、定員管理・給与の適正化、地方税の徴収強化等の取り組みにより財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】

平成12年に公債費負担適正化計画を策定し給与削減、退職者不補充等実施しているが、三位一体改革による交付税等一般財源の削減により、比率は好転しない状況である。今後も公債費の適正化や義務的経費の縮減等により経常経費の削減に努める。

【起債制限比率】

平成12年度から平成16年度公債費負担適正化計画を策定・実施し、下降傾向にある。今後も起債発行を抑制し、公債費負担の適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】

類似団体平均を大きく上回る(16年度末1,137千円)が、残高については今後減少する見込みである。

【ラスパイレス指数】

給与体系の見直しが進められ、類似団体平均を上回っている。合併後は21年度までの5年間で事務の統合・縮小を行いながら全庁的な人員配置の見直しにより定員の適正化(5年間で概ね13%、72人減)を進め、国及び地方公共団体との均衡、民間の動向等を踏まえながら給与の適正化を実施する。

【人口1,000人当たり職員数】

退職者の不補充など行っているものの、平均より上回っている。平成17年10月1日合併により新生大田市となり事務の統合・縮小を行うなど全庁的な人員配置の見直しをおこなう。